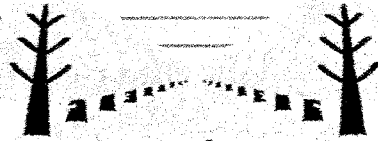




臼井西中だより

〒285-0866 佐倉市臼井台 1588 番地
TEL 043-462-1781 FAX 043-462-4897

令和6年11月1日



『生きる力』を育む進路学習・体験学習

校長 高井 亮一

10月11日に佐倉ハーモニーホールで合唱祭が実施されました。緊張の中、どの学級も練習の成果を十分発揮した立派な舞台でした。審査員の先生が賞を決める際にも、ご苦勞されていただきました。また、「臼井西中の、のびやかな声が印象的でした」との講評をいただきました。

この合唱祭の成果・歌声を卒業式に繋げてくれることを期待しております。ご多用の中、会場にお越し頂きました保護者の皆様方、ありがとうございました。

さて、3年生はいよいよ進路選択の決定期に入っていきます。中学校卒業後、生徒は社会に出て行きます。高校進学希望が多数ですが、「自分が決める自分の道」という点で、これもひとつの社会だと考えています。進路選択に直面する3年生に、3つ大事なことを伝えます。

①担任の先生（教科担任の先生）の話を、顔を上げてよく聞く

朝の会や帰りの会で、進路選択・進路情報について、直接関係する、大切な話があります。聞き逃さないように、しっかり聞いて、「自分が行動しなければならない」ことや「自分に当てはまる」ことかを「自分で考え適切に判断」すること。

②提出物の期限を守る。日常の学校生活を大事にする。

進路事務・願書などの締め切り期限は、校外（進路希望先）との約束事となります。日頃から担任の先生に提出する書類や各教科担当の先生に提出する書類やノート・プリント類は余裕を持って提出する。また毎日の9教科の授業を大切にすること。掃除や歌声活動を精一杯行うこと。

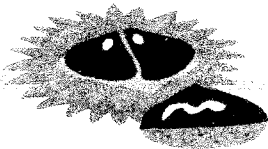
③わからないことがある。困っていることがあれば、早めに先生に相談する。

最終的には、『自分をよく理解した上で、自分に合った進路を見極め、自分が決める』ですが、「先生に相談する」ということも、「自分で考える」の中に含まれます。

卒業して、3年後には成人して選挙権も取得します。「自分の力」で生きていくまでにそれほど長い期間ではありません。1・2年生はまだ先のことを考えている生徒が多いかも知れません。しかし進路選択は、生徒の「生きる道」の選択であり、「キャリア学習」は1年時から考えていくべきものです。その意味で、2年生の校外学習（キャリア学習）や福祉ボランティア体験活動は、たいへん意義のある体験学習となります。

生徒の進路決定に向けて、保護者の皆様には、「生徒が自分で考え、自分で決められる」よう、様々な角度からの支援・助言をお願いできれば有り難く思います。





【11月の予定】

3日(日)	文化の日	19日(火)	1・2年テスト2日前部活動停止 学習会可
4日(月)	振替休日	20日(水)	1・2年テスト1日前部活動停止 学習会可
5日(火)	1年ボランティア活動	21日(木)	1・2年第3回定期テスト1日目
6日(水)	全校評議会	22日(金)	1・2年第3回定期テスト2日目 ノー部活デー
7日(木)	ノー部活デー	26日(火)	3年子育て理解講座
8日(金)	2年校外学習	28日(木)	ノー部活デー
14日(木)	ノー部活デー 教育ミニ集会		
15日(金)	ノー部活デー		
18日(月)	3年三者面談～22日まで (3年特別日課4時間) 1・2年テスト前部活動停止 学習会可		

明響白井

～澄みわたる春色を心に響かせ、最高のハーモニーを～

10月11日(金)に佐倉ハーモニーホールにて、合唱祭を行いました。どのクラスも練習の成果を存分に発揮した素晴らしい歌声をホールに響かせました。保護者の皆様には、学年完全入れ替え制にご協力いただき、どの学年もスムーズに合唱祭を進めることができましたことに感謝申し上げます。

優秀賞

〇1年1組「この星に生まれて」

指揮:原 真奈美さん 伴奏:佐藤 慶さん



〇2年2組「あなたへ一旅立ちに寄せるメッセージ」

指揮:吉村 凜さん 伴奏:尾形 成美さん

最優秀賞

★3年2組「信じる」

指揮:鈴木 瑠華さん 伴奏:佐藤 柚基さん

※3年2組と吹奏楽部は、10月31日(木)におこなわれた第一部会音楽発表会に白井西中学校の代表として参加し、素晴らしい歌声や演奏を披露しました。

【令和6年度 全国学力学習状況調査結果分析】

令和6年4月18日に実施された全国学力・学習状況調査(中学3年生対象)において、本校では次のような傾向が見られました。さらに分析を進め、今後の授業改善に生かして参ります。

<国 語>

国語の調査においては、「話すこと・聞くこと分野」「読むこと分野」については比較的良好な結果が出ている。これは基礎基本の習得に時間をかけ、ICTを活用して個々の意見を出しやすくし、交流する場面を増やしてきた成果であると考えられる。一方で「書くこと分野」や「記述式の問題」について課題が見られた。日常的に感想を書く機会を設けているが、更に力を入れて取り組む必要があると考える。

<数 学>

数学の調査においては、「図形の分野」は良好な結果であった。これは既習内容の復習を適宜取り入れ、図形の内容をわかりやすくとらえられるようにICTの活用を積極的に行ってきた成果であると考えられる。一方で「数と式の分野」に課題が見られた。朝学習の時間も活用しながらドリル学習を引き続き行うことで向上が図れると考える。